

法人運営分野

<p>① 理事会評議員 会の開催・監 査の実施</p>	<p>(1)理事会 理事に自治会長会長、民生委員児童委員協議会会長を迎え、地域の現状の 声の代表として、社会福祉協議会運営に提案をいただいた。 また、社会福祉事業を運営するものとして社会福祉法人の理事長、ボラン ティアの代表や学識経験者を含め、8名の理事が就任している。 苦情解決第三者委員の退任に伴い、岩田利弘氏に委員委嘱を行った。</p>
<p>6月3日(水)</p>	<p>① 日常生活自立支援事業利用料助成規程について ② 令和元年度事業報告について ③ 令和元年度一般会計決算について ④ 令和2年度一般会計収支補正予算(案)について ⑤ 評議員選任候補者の推薦について ⑥ 評議員会の日程と招集理由について</p>
<p>10月28日(水)</p>	<p>① 東員町による監査の報告 ② 令和2年度事業経過報告（9月末現在）</p>
<p>12月16日(水)</p>	<p>① 苦情解決第三者委員の選任について ② 令和2年度一般会計収支補正予算（案）について ③ 評議員会の日程と招集理由について</p>
<p>3月17日（水）</p>	<p>① 役員に対する報酬及び費用弁償に関する規程の改 正について（報酬及び費用弁償額の変更） ② 給与規程の改正について（職員の再任用を創設） ③ 常勤臨時職員給与規程について（新設） ④ 臨時職員等就業規則の改正について ⑤ 日常生活自立支援事業利用料助成規程の改正に ついて ⑥ 令和2年度一般会計収支補正予算（案）について ⑦ 令和3年度事業計画（案）について ⑧ 令和3年度一般会計収支予算（案）について ⑨ 令和3年度予算中のサービス区分内流用と予備費の 充用について ⑩ 事務局長の選任について ⑪ 評議員会の日程と招集理由について</p>
<p>(2)理事研修 理事が運営判断をするための材料として、以下の研修を行った。</p>	<p>① 開催日 10月28日(水) 会 場 : 東員町ふれあいセンター 内 容 : 講演「東員町の現状と高齢者施策について」 講 師 : 東員町役場健康長寿課 課長 中川 賢 氏 出席者 : 8名</p>

① 理事会評議員
会の開催・監
査の実施

(3)評議員会

評議員14名のうち 8名の方に新たに評議員に就任いただき、各方面から意見をいただいた。

[任期：平成29年4月1日から選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで]

6月18日(木)	① 令和元年度事業報告について ② 令和元年度一般会計決算について ③ 令和2年度一般会計収支補正予算(案)について
12月24日(木)	① 令和2年度一般会計収支補正予算(案)について
3月25日(木)	① 理事の選任について ② 令和2年度一般会計収支補正予算(案)について ③ 令和3年度事業計画(案)について ④ 令和3年度一般会計収支予算(案)について ⑤ 令和3年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について

(4)監査

- ① 5月27日(水) 令和元年度事業報告・一般会計収支決算の監査
- ② 12月4日(水) 令和2年度前期事業・一般会計収支の監査

② 戸別・特別会
員の募集

『ふくしのわ』春号で全町民に呼び掛けると共に、全地区の自治会長にご協力いただいた。また、地域福祉座談会開催地区やシニアカレッジで社協の役割と実践を説明した。

- ① 戸別会費 5月
2,695,515円(前年度比 98.7%)
5,391世帯(東員町世帯数から算出した加入率 54.2%)
(自治会加入世帯数から算出した加入率 65.4%)
- ② 特別会費 7~8月
20団体を訪問し、特別会員への加入を呼びかけた。
842,000円(前年度比 104.6%)
* 特別会員へお礼状を送付し、会費によって地域福祉の啓発事業をしていることを伝えた(10月末発送)
* 地域福祉座談会や地域の団体等とより関係が深まり、社協事業の理解者が増加したことにより特別会費が増加した。

③ 苦情要望の受
付

(1)苦情の受付

- * 戸別会費 1件
- * 配食サービス 1件
- * 第三者委員会に報告する案件はなし
- * 居宅介護支援事業所 2件

④ 職員研修
役職員の倫理
の向上

(1)内部統制を向上させる研修

総務福祉係 延べ3回(すべて係内で伝達研修を行った)

(2)社協職員研修会

開催日：11月12日(木)

内容：令和2年10月理事会報告会について

参加者：33名

<p>④ 職員研修 役職員の倫理 の向上</p>	<p>(3)人権研修 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催できなかった。</p> <p>(4)総務福祉系の研修</p> <p>① 専門性を高めるための研修に偏りがちなので、係員ひとりひとりが目指すものを明確にして個別研修計画を作成し評価した。</p> <p>② 他市町社協と意見交換 愛知県小牧市社協と社協事業全般について意見交換をする予定であったが来年度に延期した。</p>
<p>⑤ 寄付金の受付 と管理</p>	<p>(1)ご寄付 ご寄付者名を『広報とういん』に掲載した。 寄附金額 1,217,891円 (51件) (前年度比 63.7%) 寄付者名をホームページに掲載した。(毎月1回更新)</p> <p>(2)バナー広告 新たな財源確保と地域福祉に関心を寄せる方の拡大を目的にバナー広告を継続した。 広告掲載料1ヶ月1,000円 18社 (205,000円)</p>
<p>⑥ 日本赤十字社 会費増強運動</p>	<p>日本赤十字社の理解促進のため町内で啓発した。</p> <p>① 啓発活動 新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動できなかった。</p> <p>② 特別会員の募集 4月11日(木)自治会長会でご協力をお願いし、ご支援いただいた。 令和2年度実績額 2,696,224円(前年度比 97.6%)</p>
<p>⑦ 安全衛生委員 会</p>	<p>毎月1回 各部署の代表者が集まり、介護休暇の取得、婦人科検診、職域のヒヤリハットなどについて話しあって労働衛生の向上に努めた。 新型コロナウイルス感染防止、介護現場におけるハラスメント対策、健康診断、産業医からの改善提案についてなど。</p>

地域福祉分野

<p>⑧ 福祉のつどい</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止等を踏まえ開催中止となった。</p>								
<p>⑨ 『ふくしの わ』の発行</p>	<p>年4回発行し、住民が地域福祉・支えあい活動を身近に感じられるよう地域福祉活動や社協事業等を分かりやすく伝えた。 ※各戸配布・配架場所（役場、保健福祉センター、総合文化センター、笹尾連絡所、笹尾コミュニティーセンター）</p> <table border="1" data-bbox="408 1727 1396 1960"> <thead> <tr> <th data-bbox="408 1727 531 1776">発行日</th> <th colspan="2" data-bbox="531 1727 1396 1776">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="408 1776 531 1971" rowspan="2">4月17日</td> <td data-bbox="531 1776 614 1825">表紙</td> <td data-bbox="614 1776 1396 1825">福祉のつどい&支えあいフェス</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1825 614 1960">内容</td> <td data-bbox="614 1825 1396 1960">理事紹介・社協戸別会費日赤協力会員募集、令和2年度事業計画・予算 第45期シニアカレッジ受講生募集、表彰（東員町食生活改善推進協議会） 令和元年度赤い羽根共同募金運動実績報告</td> </tr> </tbody> </table>	発行日	内容		4月17日	表紙	福祉のつどい&支えあいフェス	内容	理事紹介・社協戸別会費日赤協力会員募集、令和2年度事業計画・予算 第45期シニアカレッジ受講生募集、表彰（東員町食生活改善推進協議会） 令和元年度赤い羽根共同募金運動実績報告
発行日	内容								
4月17日	表紙	福祉のつどい&支えあいフェス							
	内容	理事紹介・社協戸別会費日赤協力会員募集、令和2年度事業計画・予算 第45期シニアカレッジ受講生募集、表彰（東員町食生活改善推進協議会） 令和元年度赤い羽根共同募金運動実績報告							

<p>⑨ 『ふくしのわ』の発行</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 107 528 304">7月3日</td> <td data-bbox="533 107 608 152">表紙</td> <td data-bbox="612 107 1390 152">瀬古泉の暮らしを考える会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 152 528 304"></td> <td data-bbox="533 152 608 304">内容</td> <td data-bbox="612 152 1390 304">地域支えあい活動団体メッセージ、地域包括支援センター 評議員紹介・社協特別会費 令和元年度事業報告・令和元年度決算</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 304 528 501">10月2日</td> <td data-bbox="533 304 608 349">表紙</td> <td data-bbox="612 304 1390 349">第44期シニアカレッジ卒業式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 349 528 501"></td> <td data-bbox="533 349 608 501">内容</td> <td data-bbox="612 349 1390 501">社協戸別会費・日赤協力会費実績報告 赤い羽根共同募金、マスクを通じた支えあい活動 表彰、成年後見制度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 501 528 797">1月15日</td> <td data-bbox="533 501 608 546">表紙</td> <td data-bbox="612 501 1390 546">大木地区地域福祉委員会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 546 528 797"></td> <td data-bbox="533 546 608 797">内容</td> <td data-bbox="612 546 1390 797">会長挨拶・緑綬褒章受章・表彰・地域福祉座談会 食糧品寄贈・簡易型自動録音機贈呈・福祉車両贈呈 社協特別会費実績報告・赤い羽根共同募金・とういん災害ささえあい委員会 地域包括支援センター・心配ごと相談 無料弁護士相談・職員募集</td> </tr> </table>	7月3日	表紙	瀬古泉の暮らしを考える会		内容	地域支えあい活動団体メッセージ、地域包括支援センター 評議員紹介・社協特別会費 令和元年度事業報告・令和元年度決算	10月2日	表紙	第44期シニアカレッジ卒業式		内容	社協戸別会費・日赤協力会費実績報告 赤い羽根共同募金、マスクを通じた支えあい活動 表彰、成年後見制度	1月15日	表紙	大木地区地域福祉委員会		内容	会長挨拶・緑綬褒章受章・表彰・地域福祉座談会 食糧品寄贈・簡易型自動録音機贈呈・福祉車両贈呈 社協特別会費実績報告・赤い羽根共同募金・とういん災害ささえあい委員会 地域包括支援センター・心配ごと相談 無料弁護士相談・職員募集						
7月3日	表紙	瀬古泉の暮らしを考える会																							
	内容	地域支えあい活動団体メッセージ、地域包括支援センター 評議員紹介・社協特別会費 令和元年度事業報告・令和元年度決算																							
10月2日	表紙	第44期シニアカレッジ卒業式																							
	内容	社協戸別会費・日赤協力会費実績報告 赤い羽根共同募金、マスクを通じた支えあい活動 表彰、成年後見制度																							
1月15日	表紙	大木地区地域福祉委員会																							
	内容	会長挨拶・緑綬褒章受章・表彰・地域福祉座談会 食糧品寄贈・簡易型自動録音機贈呈・福祉車両贈呈 社協特別会費実績報告・赤い羽根共同募金・とういん災害ささえあい委員会 地域包括支援センター・心配ごと相談 無料弁護士相談・職員募集																							
<p>⑩ ホームページの運営</p>	<p>町内の地域福祉活動や社協事業を誰もが把握できるよう運営に努めた。 主たる掲載記事である各地区の地域活動が延期、中止したため、掲載記事数が減少した。</p> <p>* HPアクセス件数 481,149件（昨年度比 124.8%） Facebookアクセス件数 11,621件（昨年度比 47.6%）</p> <table border="1"> <tr> <td>4/1～4/30</td> <td>4,766</td> <td>10/1～10/31</td> <td>6,365</td> </tr> <tr> <td>5/1～5/31</td> <td>5,001</td> <td>11/1～11/30</td> <td>6,652</td> </tr> <tr> <td>6/1～6/30</td> <td>4,836</td> <td>12/1～12/31</td> <td>4,775</td> </tr> <tr> <td>7/1～7/31</td> <td>5,390</td> <td>1/1～1/31</td> <td>7,745</td> </tr> <tr> <td>8/1～8/31</td> <td>4,952</td> <td>2/1～2/28</td> <td>3,788</td> </tr> <tr> <td>9/1～9/30</td> <td>4,265</td> <td>3/1～3/31</td> <td>4,632</td> </tr> </table>	4/1～4/30	4,766	10/1～10/31	6,365	5/1～5/31	5,001	11/1～11/30	6,652	6/1～6/30	4,836	12/1～12/31	4,775	7/1～7/31	5,390	1/1～1/31	7,745	8/1～8/31	4,952	2/1～2/28	3,788	9/1～9/30	4,265	3/1～3/31	4,632
4/1～4/30	4,766	10/1～10/31	6,365																						
5/1～5/31	5,001	11/1～11/30	6,652																						
6/1～6/30	4,836	12/1～12/31	4,775																						
7/1～7/31	5,390	1/1～1/31	7,745																						
8/1～8/31	4,952	2/1～2/28	3,788																						
9/1～9/30	4,265	3/1～3/31	4,632																						
<p>⑪ 民生委員児童委員協議会との協働</p>	<p>民生委員児童委員協議会の事務局として、会合や活動の連絡調整、会計などの事務を担った。</p> <p>* 役員会 7回開催（4/8.7/8.8/4.10/1.12/4.2/5.3/4） * 定例会 2回開催（4/21.8/18） * 高齢者実態把握事業として65歳から5歳刻みで調査を行った。 * 高齢者実態把握事業と同時にPR活動としてPRカードとティッシュを配布した。 * 低所得者への支援として、食糧募集を行い三重県社協に寄付した。 * ブロック別の活動、分野別活動を事務局として支援した。</p>																								
<p>⑫ 地域支えあい推進事業</p>	<p>(1)自治会長会 ① 4月16日(木) 今年度の重点事業について事業計画に基づき説明した。 今年度から受託した地域包括支援センターについては重点的に説明した。 社協戸別会費・日赤協力会員の募集を依頼した。</p>																								

⑫ 地域支えあい推進事業

共同募金を活用した小地域福祉活動助成事業と備品貸出事業をご活用いただきやすいように説明した。

② 8月20日(木)

社協主催の自治会長会を2回開催予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、自治会長会開催時に赤い羽根共同募金の依頼と、小地域福祉活動助成事業について説明した。

(2)自治会活動の紹介

新型コロナ感染拡大状況等により取材及び紹介等ができなかった。

⑬ 地域福祉座談会

(1)新規に開催した自治会（全自治会の約78%・18地区で実施）
 笹尾西4丁目自治会

(2)実施状況（18地区・地区順）

筑紫	(名称) 筑紫地区地域福祉座談会
	※今年度実施なし。
穴太	(名称) 穴太福祉座談会
	R2.4.11 見守り記録票を確認した。シニアお茶会はコロナウイルスが落ち着いたら5月に開催する予定になった。
	R2.6.13 見守り記録票を確認した。コロナウイルスのために疎遠になっている。楽しいことができると良いと話し合われた。
	R2.9.12 見守り記録票を確認した。65歳以上一人暮らし世帯以外でも気になる方について共有した。シニアお茶会はコロナウイルスの状況をみて開催を検討する。
	R2.11.14 見守り記録票を確認した。気になる方について共有した。シニアお茶会は感染防止対策をしながら11/18に開催されると話し合われた。
	R3.2.13 見守り記録票対象者以外の気になる方についても共有した。プライバシーに配慮して気にかけることが話し合われた。
瀬古泉	R3.2.13 シニアお茶会は5月に計画する予定
	(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会
	R2.6.27 小規模災害時の一時避難場所について確認。町のマニュアルに沿って地区での詳細を決めることになった。
R2.8.29 今後も活動を推進する必要があることを確認し、自治会班長も参加することが提案された。 (※コロナ感染拡大防止のため社協欠席)	

⑬ 地域福祉座談会

瀬古泉	R2.10.24	考える会メンバー構成を検討し、現状のままとなった。また、地域の高齢者の買い物支援について考えていくことを共有した。
	R2.12.19	高齢者の買い物支援について自治会で取り組むことになった。社協は他地区の情報を提供した。 (※コロナ感染拡大防止のため社協欠席)
	R3.2.20	高齢者の買い物支援に向けて、民生委員が区内の65歳以上世帯に聞き取りをされ、結果を報告された。それを踏まえてボランティアを募ることとなった。 (※社協職員web参加)
山田	(名称) 山田地区地域福祉座談会	
	※今年度実施なし。	
鳥取	(名称) 鳥取地区地域福祉座談会	
	※今年度実施なし。	
八幡新田	(名称) 八幡新田見守りネットワーク座談会	
	R2.10.14	年度初回でメンバーの変更もあったため自治会長よりネットワークの主旨や見守り活動、やはたおでかけサポートについて説明があり、その後、見守り対象者情報の共有を行った。
	R3.2.17	やはたおでかけサポートの再開に向けて話し合った後、見守り対象者情報の共有を行った。
大木	(名称) 大木地区地域福祉委員会	
	R2.9.16	粗大ゴミ運搬、大木カフェ、地域福祉委員会について話し合った。粗大ゴミ運搬のお手伝いは10/18(日)実施、大木カフェは年内中止。
	R2.11.18	粗大ゴミ運搬の振り返りの後、大木カフェ、地域福祉委員会について話し合った。大木カフェは来年3/11(木)再開予定。
	R3.2.18	地域福祉委員会について話し合った。3/11に再開する大木カフェの準備をすることになった。
	R3.3.11	大木カフェの今後、地域福祉委員会について話し合った。

⑬ 地域福祉座談会

南大社	(名称) 南大社地区地域福祉座談会
	※今年度実施なし。
長深	(名称) 長深地区地域福祉座談会
	※今年度実施なし。
中上	(名称) 中上地区見守り会議
	R2.6.25 新メンバー加入のため自己紹介。中上CAT、五和会、グラウンドゴルフの活動状況等報告。
	R2.7.27 見守り調査をもとに気にかける方を共有し、今後の見守りに活かすこととなった。
	R2.8.21 見守り者名簿を活用し、メンバーが中心になって見守ることを再確認した。また、地区内の活動状況等報告。 (※コロナ感染拡大防止のため社協欠席)
	R2.9.25 見守り者の情報を共有し、今後さらに気にかけることとした。また、地区内の活動状況等報告。
	R2.10.21 見守り者の情報と、新たに気にかける方の情報を共有した。
	R2.11.19 見守り者の情報共有。地区内の活動状況等報告。コロナ禍での活動の対策検討。
	R2.12.16 外出スポット運転手からの提案によりイオン発の便を増便することとなった。 (※コロナ感染拡大防止のため社協欠席)
	R3.1.20 外出スポットの来年度計画。見守り会議規約の見直し。地区内の活動状況等報告。 (※コロナ感染拡大防止のため社協欠席)
	R3.2.17 見守り者の情報共有。外出スポットのボランティア保険、運転手登録の説明。地区内の活動状況等報告。 (※社協職員web参加)
	R3.3.17 見守り者の情報共有と新たに気にかける方を確認。外出スポットの活動日増加について提案があった。
笹尾西1丁目	(名称) 笹尾西1丁目地域福祉座談会
	※今年度実施なし。
笹尾西4丁目	(名称) 笹尾西4丁目地区地域福祉座談会
	R2.11.24 子どもたちへの関わり、コミュニケーションの拡大について話し合った。

⑬ 地域福祉座談会

笹尾東1丁目	(名称) 笹尾東1丁目地域福祉座談会
	R2.4.11 年齢制限なく気軽にお茶を飲める場について話し合った。
笹尾東2丁目	(名称) 笹尾東2丁目地区地域福祉座談会
	※今年度実施なし。
笹尾東4丁目	(名称) 笹尾東4丁目地区見守り会議
	R2.10.16 見守り報告書のアンケート結果、資源ゴミ回収、笹尾東4丁目における災害対策、地域の中で気になる人・気になることについて話し合った。
城山1丁目	(名称) 城山1丁目地区座談会
	※今年度実施なし。
城山2丁目	(名称) 城山2丁目地区座談会
	R3.2.26 城山2丁目独自の救急医療情報キットについて検討していくことになった。
城山3丁目	(名称) 城山3丁目地区座談会
	※今年度実施なし。

※上記以外に座談会活動と似た話し合いを実施している地区がありますが、社協が関わっていないため、地域福祉座談会開催地区に含んでおりません。

⑭ 生活支援体制整備事業

- (1) 地域支えあいの深化
- ① 地域福祉（だれもが普段の暮らしで幸せを感じられるように、地域の人と人がお互いに助けたり助けられたりできるようにする福祉）の推進を図ることを目的として、活動場所へ出向き、地域の支えあいがより深化するように関わった。
 - ② 新たに地域福祉活動を立ち上げようとしている地域の取り組みを支援した。（瀬古泉地区・長深地区）
 - ③ 町内で地域福祉活動を行っている団体の活動がより推進されるよう支援した。（笹尾西2丁目健白会）
- (2) 既存の活動を“地域の宝物”として取材し、社協HPやFacebookで紹介した。
- (3) 支えあい活動団体への支援
- ① 地域支えあい活動団体への登録
八幡新田「やはたおでかけサポート」、城山1丁目「城山壹シニアクラブ喜楽会」が新たに団体登録。（令和3年3月末現在で登録団体は15団体）
 - ② 支えあい活動団体の紹介・広報活動を行った。
- (4) 支えあい活動の実践発表
- ① 岐阜県社協主催の生活支援コーディネーター研修で、町内の八幡新田地区への働きかけについて実践発表した。

<p>⑭ 生活支援体制 整備事業</p>	<p>(5) 企業等との連携</p> <p>① ファミリーマートとの連携 店内イートインスペースや駐車場等を活用した協働企画を提案した。</p> <p>(6) 多職種との連携</p> <p>① 地域包括支援センターと意見交換して地域福祉に関する情報を提供し地域包括ケアシステムの構築を図った。</p> <p>② 市民活動支援センターと協働の取り組みについて意見交換した。</p> <p>③ 町内の小学校を訪問し「認知症キッズサポーター養成講座」を行った</p> <p>④ 行政との連携 「東員町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定にあたり生活支援体制整備事業について検討した。</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染拡大にともなう対応</p> <p>① 地域支えあい活動登録団体への支援 ・社協で作成したチラシと、コロナ対策資料、エタノール製剤を登録団体へ提供するとともに、再開支援補助金等の情報を提供した。</p> <p>② 介護予防活動実施団体への支援 ・介護予防活動を実施している団体に対し、活動がより活性化するよう「地域介護予防活動団体」への登録を推奨した。 ※令和3年3月末現在で登録団体は10団体</p> <p>③ 自治会、シニアクラブ等への支援 ・新型コロナ対策について、参考となる資料や社協作成チラシ等情報提供し、活動再開などへの参考としてもらった。 ・笹尾西1丁目自治会の自治会活動へのオンライン導入・自治会ホームページの作成について、ブログ・HP・Facebook・LINE・ZOOM等の情報を提供し、導入や作成への参考としてもらった。</p> <p>④ 不要なマスクの回収及び寄贈 ・不要になったマスクの回収箱を町内各所へ設置し、寄贈した。 寄贈先 ・教育委員会を通じて町内の学校へ ・東員町福祉事業所連絡協議会を通じて町内の福祉事業所へ ・熊本県社会福祉協議会ボランティアセンターを通じて令和2年7月豪雨災害で被災された方へ ・昨年の町内豪雨災害時に支援いただいた熊本県立鹿本商工高等学校へ</p>
<p>⑮ 活動支援</p>	<p>住民相互の助けあい・支えあいの活動がより推進されるよう、地域福祉の向上に資する活動や団体の活動を支援した。</p> <p>(1) 地域福祉活動助成事業 地域福祉座談会を通じて生まれた活動等に要する経費の一部を助成した。</p> <p>① カフェみなみ（南大社） 50,000円 *カフェに使用する備品</p>

<p>⑮ 活動支援</p>	<p>② ろくちゃんカフェ（六把野新田） 50,000円 * カフェに使用する備品</p> <p>③ café chat yashiro（北大社） 100,000円 * カフェに使用する備品</p> <p>④ 長深自治会 50,000円 * 住みやすいまちづくりのためのボランティア活動の備品</p> <p>(2) 小地域福祉活動助成事業 だれもが地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進する自治会活動に要する経費に対して助成した。 23自治会 475,000円</p> <p>(3) ボランティア活動保険の加入推奨 安心して活動するため、ボランティア活動保険の加入を勧めた。 * ボランティア活動保険加入実績/615件</p>
<p>⑯ 生活支援型配食サービス</p>	<p>在宅のひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に昼食を配達するとともに安否確認し、留守の場合は改めて自宅を訪問して状況を確認した。</p> <p>(1)配食 * 委託先/社会福祉法人いずみ * 利用日 月曜日から金曜日の中で希望する日 * 個人負担金 300円(減額対象者2名 150円) * 利用食数 2,675食 利用登録者16名 利用実人数1日平均11人</p> <p>(2)安否確認 * 配達時に留守で安否確認した件数 11件 * そのうち、家族（ケアマネジャー）・民生委員に連絡した件数 5件</p>
<p>⑰ ふれあい型配食サービス</p>	<p>ひとり暮らし高齢者を中心とした対象者に、ふれあいを目的に昼食を配達した。</p> <p>(1) 配食 * 委託先 火曜日 就労継続支援 A 型ピュア(調理) ※配達は社協臨時職員 金曜日 わくわくボランティア(調理・配達) * 利用日 火曜日と金曜日の希望する日 * 個人負担金 300円 * 利用食数 2,215食 利用登録者 36名 利用実人数 1 日平均 23人</p> <p>(2) 安否確認 * 配達時に留守で安否確認した件数 73件 * そのうち、家族（ケアマネジャー）・民生委員に連絡した件数 12件</p> <p>(3) 食中毒講習会 日 時 令和2年7月3日(金) 内 容 食中毒予防講習会 講 師 桑名保健所 参加者 9名</p>

<p>⑱ シニアカレッジ</p>	<p>シニアカレッジを受講することによって地域福祉に関心を持ってもらい、卒業後、地域福祉活動のリーダーになっていただけるように取り組んだ。</p> <p>開催日 6月～3月までの月1回</p> <p>会 場 ふれあいセンター等</p> <p>修了生 28名</p> <p>内 容 東員町の現状(東員町長)、東員町の歴史(猪名部神社宮司)など</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10/8修学旅行、12月～2月講座は中止。全15科目(3月卒業式を除く)中、9科目の開講</p>
<p>⑲ 地域ボランティア</p>	<p>地域ボランティア制度への登録をきっかけに地域福祉に目を向けてもらえるよう、登録説明会では地域福祉に関して意見交換する時間を設けた。</p> <p>① 登録状況/登録者のべ132名・活動先27ヵ所</p> <p>活動先：介護付有料老人ホームあおい.ナシグ ホームも 特別養護老人ホームパークデンス.東員町デ イビ スセンターふれあい ショートステイグループホームとういん.笹尾デ イビ スセンターみんなの家 就労継続支援A型事業所シグ マファームとういん とういんデ イビ スセンターとういんシニアハウス,各カエ 各保・幼稚園6園.各小学校6校.各中学校2校 教育委員会.社会福祉協議会</p> <p>② 傾聴ボランティアは個人宅を訪問して活動(活動者登録 5名 活動先3名)</p> <p>③ 広報 ホームページ・Facebook</p> <p>④ 地域ボランティア制度について行政との打ち合わせ/7回</p> <p>⑤ 登録希望者説明会の開催(9回/年)※その内個別対応：5回</p> <p>⑥ 登録者と活動先とのマッチング/6回</p> <p>⑦ 登録者対象の講座開催</p> <p>1)傾聴講座(1回/年 R2.11.26開催)</p> <p>・講師：地域ボランティア登録者、参加者：12名</p> <p>2)PC講座</p> <p>・月1回開催予定だったが新型コロナ感染拡大防止のため回数を減らした。</p> <p>・講師：地域ボランティア登録者、参加者：のべ10名</p> <p>3)学習ボラ座談会</p> <p>・R2.12.4開催予定が新型コロナ感染拡大防止のため中止。</p> <p>⑧ ポイント交換率 82.6%</p>
<p>⑳ 心配ごと相談 無料弁護士相談</p>	<p>弁護士、一般相談員(有資格者・学識経験者・元民生委員)が相談に応じた。</p> <p>法律的な相談に弁護士が助言したり、専門機関を紹介した。</p> <p>* 毎月5日(土・日・祝の場合は翌日)及び、第3日曜日</p> <p>心配ごと相談及び弁護士相談開催回数 20回</p> <p>相談件数 68件(弁護士56件)</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5・6月は中止</p>
<p>㉑ 当事者団体の 育成支援</p>	<p>① 東員障がい児者友の会</p> <p>助成金の交付</p> <p>各種事業の開催支援、広報活動の支援等</p>

<p>②① 当事者団体の育成支援</p>	<p>② 東員町障がい児(者)親の会 助成金の交付</p> <p>③ 東員町遺族会 助成金の交付 行政との連絡調整等 県戦没者追悼式の参加支援 ※町戦没者追悼式は新型コロナ感染拡大状況等により中止。</p> <p>④ いなべ地区視覚障がい者協会 助成金の交付</p> <p>⑤ いなべ市聴覚障がい者福祉協会東員支部 助成金の交付</p> <p>⑥ 東員町福祉事業所連絡協議会 助成金の交付 団体運営・企画実施にかかる支援</p> <p>⑦ 東員町シニアクラブ連合会 理事会・企画委員会への参加、各種事業の開催・広報活動の支援</p> <p>⑧ 東員町母子寡婦福祉会 広報活動の支援等</p>
<p>②② 子育て支援事業</p>	<p>子育て支援ネットに委託し、毎週月曜日、水曜日に子育て応援ルーム、季節ごとのイベントを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4日間のみ応援ルームを開催した。子育て中の親、子ども同士が気軽に集える居場所として開催した。</p> <p>委託先/ 子育て支援ネット</p> <p>(1)子育て応援ルームの運営 開催日 6/15：8名 6/17：7名 7/15：7名 7/22：6名 (コロナウイルス感染拡大防止のため4/1～6/10,6/22～7/13,7/29～中止) 会場 ふれあいセンター2階 参加者 4日間で28人</p> <p>(2)イベントの開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>(3)子育て支援「ほっと」 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>(4)子育て支援ネット会議への参加 開催日 6/16・7/7・9/16・10/6・11/10・3/2 代表、副代表との打ち合わせ：2/17</p>
<p>②③ 災害対策事業</p>	<p>(1) とういん災害ささえあい委員会の事務局 災害時も平時も住民同士で支えあえるまち・とういんを目指して事務局を担い、昨年度まとめた災害VCガイドライン及びマニュアルを確認した。</p> <p>① 定例会（ささえあい委員会）の開催 7 回 ・令和2年7月豪雨災害を踏まえ、コロナ禍における災害時の先進的な取り組みについて紹介し、委員間で共有した。</p>

<p>⑳ 災害対策事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時も平時も住民同士で助け合い支え合えるよう、「平時から何か取り組めること」について検討し、地域のカフェ活動と協働して住宅防火の促進に取り組んだ。 <p>㉑ 講演会等への参加状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県災害派遣福祉チーム（三重県DWAT）研修に出席した。 ・県災害対応検討部会に委員として事務局として出席した。 ・みえ防災市民会議主催「災害ボランティア関係団体研修会(WEB)」に事務局として出席した。 <p>㉒ 令和2年7月豪雨災害義援金に日赤・ささえあい委員会で協力した。</p> <p>(2) 災害時における運営体制の整備</p> <p>㉓ 町域における体制整備</p> <p>東員町と「東員町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」を令和3年2月10日に締結した。</p> <p>東員町災害時受援計画第4章「ボランティアの受入れに関する計画」について東員町と協働で検討し、役割など明確化した。</p> <p>㉔ 桑員ブロックにおける体制整備</p> <p>県災害対応検討部会を踏まえ、桑員ブロックにおける災害時応援体制の構築を目指し、「桑員ブロック社協災害時広域連携協議会(仮)」の設置に向けた担当者会議を開催した。</p>
<p>㉕ 町内福祉事業所連絡協議会</p>	<p>町内福祉事業所間の情報交換と福祉職員の資質向上、地域福祉課題解決のため、分野を超えた福祉専門機関のネットワーク作りに取り組んだ。</p> <p>(1)運営</p> <p>㉖ 役員会（4/15・11/25・2/3）開催</p> <p>㉗ 総会（5/20）の開催</p>
<p>㉘ 共同募金委員会の活動支援</p>	<p>「地域福祉を推進するための募金」として共同募金運動を推進した。</p> <p>(1)広報</p> <p>㉙ 『ふくしのわ』（10/2発行）ホームページで運動情報を発信した。</p> <p>㉚ 啓発ポスター、チラシを町内各所へ配架</p> <p>㉛ 共同募金の趣旨や使途に特化した町独自のPRチラシを作成・各戸配布</p> <p>(2)運営</p> <p>㉜ 運営委員会（6/11.9/25.3/26）の開催</p> <p>㉝ 三重県共同募金会主催の会議に参加</p> <p>(3)共同募金運動への協力依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> * 8月20日(木)自治会長会で説明してご協力をお願いした * 東員町商工会理事会 * 東員町校長会、東員町園長会 * 町内の商店法人企業への訪問依頼 * ヴィアティン三重のサッカー試合会場で募金活動を行った。 * 新たに自動販売機を6台増設し、共同募金の増額に努めた。(203,276円) * 実績総額4,196,018円 目標額3,911,300円 達成率107.3%

③① 公的資金貸付事業

(2) 生活福祉資金、町臨時つなぎ資金の貸付相談

生活費などの相談に対応し、公的貸付資金の申請、償還支援等を行った。

① 相談件数(延べ) 131 件(実人数 16人)

② 調査委員会 1 件(教育支援資金・就学支度費)

③ 貸付決定 6 件

(教育支援資金・就学支度費1件、緊急小口資金2件、町臨時つなぎ資金3件)

④ 完済 7 件(緊急小口資金2件、町臨時つなぎ資金3件、たすけあい資金2件)

⑤ 滞納者面談 2 件(総合支援資金1件、緊急小口資金1件)

⑥ 貸付状況

福祉費	1 件
緊急小口資金	6 件
教育支援資金(教育支援費)	4 件
教育支援資金(就学支度費)	8 件
総合支援資金	1 件

(3) 新型コロナ特例貸付の相談対応

新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮している方の相談に応じ、貸付申請等を行った。

① 相談件数(延べ) 498 件(実人数 86人)

② 申請件数 126 件 決定件数117件(合計46,300,000円)

* 特例緊急小口資金(10万円) 4 件(400,000円)

* 特例緊急小口資金(20万円) 48 件(9,600,000円)

* 特例総合支援資金(15万円×3か月) 12 件(5,400,000円)

* 特例総合支援資金(20万円×3か月) 39 件(23,400,000円)

* 特例総合支援資金(延長・15万円×3か月) 5 件(2,250,000円)

* 特例総合支援資金(延長・20万円×3か月) 6 件(3,600,000円)

* 特例総合支援資金(再貸付・15万円×3か月) 1 件(450,000円)

* 特例総合支援資金(再貸付・20万円×3か月) 2 件(1,200,000円)

③ 償還件数 2 件(合計650,000円)

(特例小口20万円・1件、特例総合15万円×3か月・1件)

③② 生活困窮者自立相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

三重県生活相談支援センター相談支援員(三重県社協)や、東員町役場地域福祉課の困窮支援担当者と連携し、年金等各種給付の受給手続きや就労、医療機関の受診、進学への助言、制度利用の提案などの対応をした。

① 相談・支援件数(延べ) 802 件(実人数 114人)

※生活福祉資金関係は 131 件(16人)

新型コロナ特例貸付関係は 498 件(86人)

② 家計相談 0 人(0回)

③ 緊急食糧支援 10 人(11回)

④ 緊急物品等支援 1 人(1回)

⑤ 賃貸住宅入居保証 1 人(1回)

③② 生活困窮者自立相談支援事業

(2) 東員町生活困窮者自立支援食糧提供事業

赤い羽根共同募金を財源に、生活困窮世帯に緊急的に食糧を提供する事業を実施した。お困りの方に提供・生活再建のきっかけにした。

① 生活維持及び再建に向けた相談支援のきっかけ、見守りを目的にした社会福祉法人いずみのお弁当とパンの利用券(利用者4名)

② そのまま食べられる備蓄用おにぎり(利用者9名)

(3) 法外援護による支援

法外援護（現行の援護制度の対象にならないが、緊急一時的に命に関わる困窮状態である方に上限1000円を貸し出す）を活用して緊急一時的な生活支援を行い、これを機に就労に向けて助言をしたり他の制度に結び、生活再建を支援した。（利用者2名）

(4) 生活困窮者対応用備品、備蓄食料の配備及び活用

充電器、炊飯器や電子レンジ、カセットコンロなどの備品、食糧を当社協独自で備えた。充電器を3人に活用した。

(5) 新型コロナウイルスに関する対応

新型コロナウイルス対応に向けた生活困窮者支援の一環として、通常とは別に備蓄用食料を配備し、新型コロナ特例貸付と並行して活用した。

- ③⑧ 障がい者等
基幹相談支援
事業
障がい者・障
がい児計画相
談
- ① 計画相談・基幹型相談支援の体制について、行政と事業体制を検討し増員を決定した。
 - ② 医療ケア児に関する研修に参加し、サービスの選択や情報収集をして、効率的にプランに反映する事が可能となった。
 - ③ 実務者会議で、不足してる個人支援サービスについて行政と共有しサービスの構築が必要であることを共有した。
遠方への通院介助のサービス、緊急時のショートステイの受け入れ先等
 - ④ 計画相談員からの相談に応じ、住宅改修や福祉用具などの情報を提供した。

障がい者等基幹相談支援事業実績

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会議	関係機関から	その他	相談数(のべ)
相談件数	52	74	4	172	82	2	133	62	581

計画相談利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者総数
請求件数	21	17	15	17	25	17	13	14	17	15	16	20	75人

- ③⑨ 短期集中訪問
型サービスC
- ① 利用者1人
 - ② 筋力をつけることで、公共交通機関を利用してこれまで通りボランティア活動できるように支援できた。
- ④⑩ 地域リハビリ
テーション活
動支援事業
- ① 利用者0人
 - ② 8月に介護予防に関する研修を担当者で実施した。
- ④⑪ 短期集中通所
型サービスC
- ① 利用者3人
 - ② 筋力をつけて歩行が安定し、車の運転ができるようになり、元の生活に戻る支援ができた。
- ④⑫ 通所型サービ
スB事業
- ① 4-6月、8-9月、12-2月はコロナの為中止とした。
 - ② 体を動かす場がほしい、という要望に応じて、毎週水曜日に加え、第2.4月曜日に開設した。
 - ③ シニアヨガを百歳体操に変更し、体を動かす場を提供した。百歳体操に関心の高い人が多く、口コミで利用者が広がった。
 - ④ 10月は月間75名と過去最高の参加人数であった。

利用者総数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	/	/	/	56	/	/	75	60	/	/	/	/	191
目標値	/	/	/	30	/	/	30	30	/	/	/	/	90